第9次行政改革大綱 (R3~R6) の進捗状況について

【結論】

第9次行政改革大綱の2年目となる令和4年度の進捗状況を報告する。

1 概要

(1) 事業の進捗状況

第9次行政改革の2年目となる令和4年度では、全55事業の内、「完了」は1事業増え、6事業 (10.9%) となった。また、1件が検討終了となった。

残りの事業については、継続的に取組中。

	3つの柱			
	公共施設等	業務カイゼン	人財・組織	合計
完了	1	4	1	6
取組中	17	18	13	48
検討終了	0	1	0	1
未着手	0	0	0	0
合計	18	23	14	55

(2) 令和4年度の経費削減の成果

目標額(4年間)	令和3年度	令和4年度	合計
△ 180,000 千円	△ 12,438 千円	△ 23,918 千円	△ 36, 356 千円

【令和4年度削減内容】

No.	事業名	担当課	削減額	内容
16	道路照明灯のLED化	道路河川課	△21,505 千円	1,545 灯LED化(R3)
				電気料金削減
17 公園	公園等照明灯のLED化	緑化公園課	△402 千円	601 灯LED化(R3~4)
	公園寺思切りのLED化			電気料金削減
24	地区事務所体制の見直し	市民課	△2,011 千円	共栄事務所廃止(R3)
				高田郵便局に委託

2 令和4年度完了事業について

No.	基本方針	事業名	担当課
	取組内容		
26	行政サービス等の見直し	90 歳敬老事業の食事会の見直し	高齢福祉課
	食事会を廃止し、観覧形式の敬老会を開催。		

3 令和4年度検討終了事業について

No.	基本方針	事業名	担当課	
	電子化の研究・導入	本会議会議録作成委託料削減の研究	議会事務局	
	①委託事業者の作業内容上、音声自動認識システムによる効率化のメリットは少な			
	く、本会議会議録作成委託料削減は困難。			
35	②本会議会議録調整については、事務局職員の事務の効率化の観点からも現状の業			
	務委託が最善と判断。			
	③委員会会議録、議会だより原稿等、自前で文面を作成する際には引き続き音声自			
	動認識システムを利用するとともに、より精度の高いシステムについて研究する。			